



令和3年度

学校関係者評価報告書

学校法人諏訪学園
山形医療技術専門学校

学校法人諏訪学園山形医療技術専門学校の学校評価委員会は、令和3年度自己評価に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、その結果を以下のとおり公表いたします。

1 学校関係者評価について

専修学校における学校評価は、平成19年の学校教育法及び同施行規則の改正により、学校関係者評価の実施・結果の公表に関する努力義務が課されています。また、職業実践専門課程に認定されている課程においては、学校関係者評価を必ず実施することとなっています。本校では、「専修学校における学校評価ガイドライン」(文科省：平成25年3月)に基づき、**学校評価・学校関係者評価実施規程**を定め学校関係者評価を行なっています。

2 学校関係者評価の目的

関連業界、職能団体等関係者、卒業生、教育に知見を有する者などの学校関係者が、山形医療技術専門学校の学校評価結果を評価することで学校評価の客観性、透明性を高めるとともに、学校関係者から学校運営、教育活動の現状における課題について意見、要望を受け継続的な改善をはかること並びに特色ある学校づくりを目的としています。

3 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価をおこなうにあたり、本校の「自己評価報告書」を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」(文科省：平成25年3月)に則り実施することを基本方針とします。

4 学校関係者評価委員会委員

区分	氏名	役職/所属等	外部委員選任根拠	外部委員任期
委員長	梶原賢	校長	-	
委員	杉原敏道	教育部長	-	
委員	磯部佳宏	総務部長	-	
委員	武田貴好	教務課長	-	
委員	長沼誠	理学療法学科長	-	
委員	鈴木竜平	作業療法学科長	-	
外部委員	菊地和博	東北文教大学 特任教授	教育に知見を有する者	令和4年4月1日～令和6年3月31日
外部委員	飯塚哲	サンワ機器 代表取締役	地域住民 会社経営者	令和4年4月1日～令和6年3月31日
外部委員	高橋怜児	至誠堂総合病院 理学療法士	関係業界 卒業生	令和4年4月1日～令和6年3月31日
外部委員	安食慶太	山形厚生病院 作業療法士	関係業界 卒業生	令和4年4月1日～令和6年3月31日

5 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時 令和4年5月27日（金） 15:00～16:30

場 所 山形医療技術専門学校 会議室

6 学校関係者評価方法

「令和3年度自己評価報告書」に基づき、基準項目の結果と今後の改善方策について以下のポイントに留意しながら評価をおこないました。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の改善方策は適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取組が適切かどうか
- (4) その他、学校運営に関する意見、要望等

7 学校関係者評価結果

評価については、◎適切である、○ほぼ適切である、△やや不適切である、×不適切である再検討が必要、の4段階の評価をおこなっている。

基準並びに項目に対する学校関係者の評価は、以下のとおりです。

基準並びに項目	評価(1)	評価(2)	評価(3)
基準1 教育理念・目的・人材育成像	◎	◎	◎
基準2 学校運営	◎	◎	◎
基準3 教育活動	◎	○	◎
基準4 学修成果	○	○	◎
基準5 学生支援	◎	◎	○
基準6 教育環境	◎	◎	◎
基準7 学生の受入れ募集	◎	◎	○
基準8 財務	◎	◎	◎
基準9 法令等の遵守	◎	◎	◎
基準10 社会貢献・地域貢献	◎	◎	◎

関係者評価委員会からの意見要望(委員会質疑応答)

教育活動

新型コロナウイルス感染拡大の影響により実習指導者会議がオンライン開催となり、実際に学生と会う機会が無くなってしまい残念である。オンラインで構わないので、事前に学生と話をする機会を是非ご検討いただきたい。

昨年度は、承諾頂いた一部の実習施設の指導者とは実習前にオンラインで学生と面談していただいた。実習指導者の先生方からの希望があれば、学生にとっても指導者の先生と事前にお話をさせていただくことで実習に対する不安が軽減し、実習への導入がスムーズになることから先生方にご迷惑が掛からない形式で、より多くの実習指導者の先生方との開催を検討したい。

学修成果

3年連続での両学科揃っての国家試験合格率100%は、大変素晴らしい結果であると思われる。一方で退学者が例年より多かったようであるが、その原因と具体的な対策を伺いたい。

退学の原因は、基本的にはこれまでと同様に学業不振によるものが多くを占めている。しかし、昨年度に関しては、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりリモート授業を行わざるを得ない時期もあったため、特に1年生では横のつながりが希薄なままクラスメイトに頼ることもできず退学を選択した学生もいた。そのため、個別面談をまめに実施して個々の学生の状況把握に努め、問題が大きくなる前に対応していくよう取り組んでいる。

新型コロナウイルス感染症拡大によりリモート授業を実施せざるを得ない状況が今後も続くとは思いますが、学生のモチベーション低下を防ぐための工夫などを検討していただきたい。

実技や演習等の授業も多いため、学年や学科ごとに分散登校などを行いながら可能な限り対面授業を実施したいと考えている。特に、1年生に関してはクラスメイトとの人間関係も十分に構築できていない状況でリモート授業が続くことになると、精神的に孤立してしまい学習意欲が低下することも危惧されるため十分に配慮していきたい。

学生支援

学生の就職率は今年度も 100%を達成できたということであるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響などは無かったか伺いたい。

就職ガイダンスを開催することはできなかったが、求人数は例年並みであり卒業生は概ね希望する施設に就職できた。就職活動に全く制限が無いわけではないが、オンラインによる対応等を行っている施設も多く大きな問題は見られなかった。

体育館やグラウンドが完成したが、現在の利用状況を伺いたい。

3月の卒業式と4月の入学式については、参加者を制限し十分な感染対策を講じながら挙行できた。現在は体育の授業で週に1度利用しているが、コロナ禍のためサークル活動や授業以外での利用は控えている。今後の新型コロナウイルス感染状況と学生の要望等を踏まえ、活用を検討していきたい。

教育環境

新型コロナウイルス感染症拡大による臨床実習への影響について伺いたい。

昨年度に関しては実習時期を変更した学年もあるが、実習施設にご協力いただきながら概ねカリキュラム通り実施できた。ただし、一部の施設では期間を短縮せざるを得ない状況等もあったため、学生に不利益が生じないように実習の一部を学内演習に切り替え手厚くフォローした。

学生の受け入れ募集

コロナ禍により学生募集活動に苦勞されたことと思われるが、何か特別に実施された事などがあれば伺いたい。

コロナ禍であるため、SNSを活用した情報発信に注力した。さらに、広報室を中心に出張講義や高校訪問の回数を増やしたりしてこれまで行ってきた学生募集を強化した。また、2年連続開催を見送っていた1・2年生向けの春のオープンキャンパスを開催し、想定以上の高校生に参加いただいた。